



「選挙」は、私たち一人ひとりのために

自由民主党副幹事長・女性局長代理  
参議院議員・薬剤師 本田 顕子

第26回参議院選挙中に応援弁士として街頭演説をされていた安倍晋三元総理大臣が銃撃されるという事件が起きました。武器を使わない言論で候補者が戦う選挙中にこうした事件が起こったことは大変なショックでした。しかしながら、選挙という大切な国民の権利の重要性を多くの世代の皆様へ途切れることなく伝え続けていきたいと思い、7月9日はマイクを持って最後まで活動を続けました。

人の命や健康に直接関与する医薬品とその情報を取り扱う薬剤師という職能は、法律によってその権限、責務等が規定されています。法律や制度は国会、政府、行政によってその方向が決められ、改める必要があれば法は改正され、制度が変わることがあります。

新型コロナウイルス感染症対策を講じる中で、薬剤師への期待の声が寄せられました。

ワクチンの充填、希釈のみならず将来的な打ち手の問題、医療用検査キットの薬局からの供給等です。現場の先生方が職能を更に広げ、地域の皆様の期待に応えられる存在につながるものにしていきたいと思えます。そのためには、法律や制度の改正等が求められてくると思えます。

さて、私が出馬した第25回参議院議員選挙後に、日本薬剤師連盟でまとめられた総括報告書の最後のページには、

「…日本薬剤師連盟の政治力は、直接的には”選挙力”すなわち”集票力”の強さをもって評価される。政治団体は、時々の政情や社会環境によって左右されない安定した”集票力”を持たなければならない。」と記載されていました。

薬剤師一人一人が常に政治課題に意識をもって連盟活動に参加を続けていくこと、

主権者である国民に与えられている大切な投票権を必ず行使することが求められていると考えます。薬剤師の先生方にもこの大切な権利をこれからも大切に考えていただくことを切に期待しています。



7月11日 朝6時過ぎ。当選確定後



2018年7月、日本薬剤師会災害対策委員として、安倍晋三内閣総理大臣（当時）と「我が国の災害対策とこれからの医療と薬剤師」をテーマに対談させて頂きました。哀悼の意を込め写真を掲載いたします。